

主任管理者

試験時間 11:00～11:35(途中退出不可) 全10問

答案用紙記入上の注意事項

この試験はコンピューターで採点しますので、答案用紙に記入する際には、記入方法を間違えないように特に注意してください。以下に示す答案用紙記入上の注意事項をよく読んでから記入してください。

- (1) 答案用紙には、氏名、受験番号を記入してください。
さらにその下のマーク欄の該当数字にマークしてください。
最初の2桁はあらかじめ印字されています。
受験番号やマークが誤っている場合及び無記入の場合は、採点されません。
- (2) 答案用紙には、HB又はBの鉛筆(シャープペンシル可)で濃くマークしてください。

(3) 試験は、多肢選択方式の五者択一式で、解答は、1問につき1個だけ選んでください。したがって、1問につき2個以上選択した場合には、その問いについては零点になります。

① 解答は、次の例にならって、答案用紙の所定の欄に記入してください。

(記入例)

問 次のうち、日本の首都はどれか。

(1) 京 都 (2) 名古屋 (3) 大 阪 (4) 東 京 (5) 福 岡

答案用紙には、下記のように正解と思う欄の枠内を HB 又は B の鉛筆(シャープペンシル可)でマークしてください。

[1] [2] [3] [4] [5]

② マークする場合、[]の枠いっぱいにはみ出さないように [4] のようにしてください。

(良い例) [1] [2] [3] [4] [5]

③ 塗りつぶしが薄い、解答に消し残しがある場合は、解答したことにならないので注意してください。

(悪い例) ~~[1]~~ [2] ~~[3]~~ [4] ~~[5]~~

④ 記入を訂正する場合には「良質の消しゴム」でよく消してください。

⑤ 答案用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。

以上の記入方法の指示に従わない場合には採点されませんので、特に注意してください。

問1 「水質汚濁に係る環境基準について」に規定する、人の健康の保護に関する環境基準の基準値として、誤っているものはどれか。

- (1) 鉛 0.01 mg/L 以下
- (2) ひ素 0.01 mg/L 以下
- (3) カドミウム 0.003 mg/L 以下
- (4) 六価クロム 0.05 mg/L 以下
- (5) ジクロロメタン 0.02 mg/L 以下

問2 大気汚染防止法施行規則第15条の3に規定する揮発性有機化合物濃度の測定に関する記述中、誤っているものはどれか。

法第17条の12の規定による揮発性有機化合物濃度の測定及びその結果の記録は、次の各号に定めるところによる。

- 一 揮発性有機化合物濃度の測定は、環境大臣が定める測定法により、年1
(1) (2)
回以上行うこと。
- 二 前号の測定の結果は、測定の日及び時刻、測定時の天候、測定者、
(3)
測定箇所、測定法並びに揮発性有機化合物排出施設の使用状況を明らかに
(4)
して記録し、その記録を3年間保存すること。
(5)

問3 水質汚濁防止法第14条の3に規定する地下水の水質の浄化に係る措置命令に関する記述中、下線を付した箇所のうち、誤っているものはどれか。

都道府県知事は、特定事業場又は有害物質貯蔵指定施設を設置する工場若しくは事業場(以下「有害物質貯蔵指定事業場」という。)において有害物質に該当する物質を含む水の地下への浸透があったことにより、現に人の健康に係る被害が生じ、又は生ずるおそれがあると認めるときは、環境省令で定めるところにより、その被害を防止するため必要な限度において、当該特定事業場又は有害物質貯蔵指定事業場の設置者(相続、合併又は分割によりその地位を承継した者を除く。)に対し、相当の期限を定めて、地下水の水質の浄化のための措置をとることを命ずることができる。ただし、その者が、当該浸透があった時において当該特定事業場又は有害物質貯蔵指定事業場の設置者であった者と異なる場合は、この限りでない。

問4 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律に規定する罰則に関する記述として、誤っているものはどれか。

- (1) 特定事業者が、都道府県知事による公害防止主任管理者の解任命令に違反したときは、50万円以下の罰金に処せられる。
- (2) 特定事業者(政令で定める要件に該当する小規模事業者ではないもの)が、公害防止統括者を選任しなかったときは、50万円以下の罰金に処せられる。
- (3) 特定事業者が、公害防止統括者を選任した日から30日以内にその旨を届け出なかったときは、20万円以下の罰金に処せられる。
- (4) 特定事業者が、公害防止管理者を選任しなかったときは、50万円以下の罰金に処せられる。
- (5) 特定事業者が、公害防止管理者を選任した日から30日以内にその旨を届け出なかったときは、30万円以下の罰金に処せられる。

問5 優先取組物質とされている有害大気汚染物質のうち、環境基準又は指針値が設定されていないものはどれか。

- (1) ジクロロメタン
- (2) クロロホルム
- (3) 酸化エチレン
- (4) ベンゼン
- (5) ニッケル化合物

問6 大気汚染物質の発生源に関する記述として、誤っているものはどれか。

- (1) 2017(平成29)年度実績において、固定発生源からのSO_x総排出量(トン/年)は、固定発生源からのNO_x総排出量(トン/年)より大きい。
- (2) 2020(令和2)年度実績における、水銀排出施設数及び割合を種類別にみると、廃棄物焼却炉が最も多い。
- (3) 2020(令和2)年度実績における、ばい煙発生施設数及び割合を種類別にみると、ボイラーが最も多く、次いでディーゼル機関である。
- (4) 2020(令和2)年度実績における、一般粉じんの発生施設数及び割合を種類別にみると、コンベアが最も多い。
- (5) 特定粉じんの発生源として、石綿が使用されている建築物の解体作業等における飛散が指摘されている。

問7 二酸化硫黄(SO₂)が主たる原因で発生した災害的イベント、大気汚染問題として、誤っているものはどれか。

- (1) ミューズ溪谷事件(ベルギー)
- (2) ポザリカ事件(メキシコ)
- (3) ドノラ事件(米国)
- (4) ロンドン事件(イギリス)
- (5) 四日市ぜん息(日本)

問8 わが国の過去に起こった大きな公害問題と関連する事項の組合せとして、誤っているものはどれか。

(公害問題)	(関連する事項)
(1) 渡良瀬川流域の鉱毒被害	足尾銅山の鉱毒水
(2) イタイイタイ病	ひ素による慢性中毒
(3) 水俣病	有機水銀中毒
(4) 田子の浦の悪臭	製紙排水等によるヘドロ
(5) 地下水汚染	トリクロロエチレン等の揮発性有機化合物

問9 自然湖岸に発達する水生植物エコトーンについて、水辺の植生の分類と、該当する代表的な植物の組合せとして、誤っているものはどれか。

(水辺の植生)	(代表的な植物)
(1) 抽水植物	ヨシ
(2) 沈水植物	エビモ
(3) 浮葉植物	ガマ
(4) 浮遊植物	ホテイアオイ
(5) 湿生植物	アゼスゲ

問10 次の記述に該当する物質はどれか。

生体にとって必須微量元素の一つであり、欠乏すると克山病(Keshan病：心筋障害の一種)を発症する。他の元素に比べて毒性が発現する濃度(中毒量)と欠乏症が発現する濃度(必要量)との差が極めて小さいという特徴を有する。

- (1) ひ素 (2) 亜鉛 (3) 鉛 (4) セレン (5) 六価クロム

